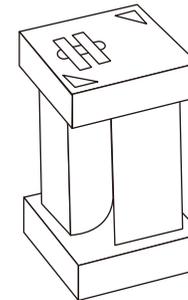


BLAZE

HOW TO
CORNER
YOURSELF
WITH GREAT SOUND

この度は BLAZE AUDIO Ci スピーカーシステムをご購入いただきまして誠にありがとうございます。
ございます。

Ci シリーズは、目立たずモダンなデザイン、設置の容易さ、広く均一なカバレッジ、シグナルプロセッサーを使用することなく優れた音質に重点を置いた商業用施設向けのパッシブスピーカーです。



同梱物：

- ・スピーカー 2本
Ci4 または Ci5 (8Ω)
Ci4-V または Ci5-V (8Ω/70V/100V)
- ・スライダ 2本
- ・マウント用ネジ、アンカープラグ
- ・取り付けテンプレート
- ・マニュアル (本書)

三角形のキャビネットデザインにより、コーナーや壁や天井に目立つことなく設置ができます。キャビネットを結合してカバレッジを拡大することができ、また取り付けポイントが統合されているため設置が迅速かつ簡単になります。

本マニュアルを良くお読みになり、BLAZE AUDIO スピーカーシステムの最高のパフォーマンスをお楽しみください。

はじめに

◆ 接続

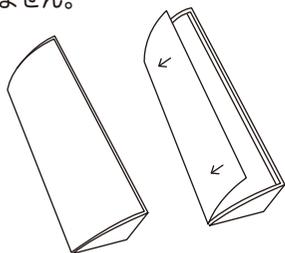
Ci モデルには、フロントバッフル板にネジ留め式端子が取り付けられています。接続には最大 4sq. mm までの芯線、最大 20mm の外径の mm ケーブルが使用可能です。

重要：常に (+) のアンプ出力を (+) のスピーカー入力端子に、(-) のアンプ出力を (-) のスピーカー入力端子に接続してください。逆にするとステレオイメージがぼやけ低音出力が大幅に低下します。

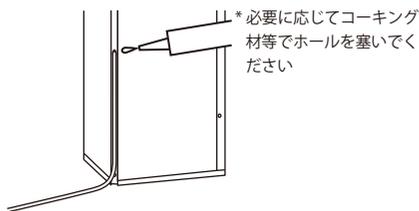
◆ ケーブルの接続方法

BLAZE AUDIO スピーカーを取り付ける前に、スピーカーケーブルをポートに必ず通してください。フロントグリル内側のバッフル板に入力端子が装備されています。

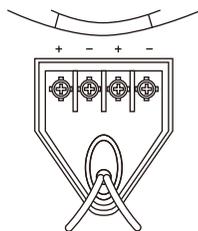
スピーカーを取り付けた後ではケーブルをキャビネット後ろのポートから通線することができません。



- ① フロントグリルを取り外してケーブル端子にアクセスします。
(キャビネットの側面からグリルをたわむように押して引っかかっているツメを外します)
- ② アンプがオフになっていることを確認します。



- ③ スピーカーケーブルをキャビネットの背面にあるポートに通して、フロントバッフルの端子に接続します。
屋外や軒下設置の際にケーブルを伝って水滴やホールから湿気が侵入して端子が錆びたりショートする可能性があります。必要に応じてコーキング等処置をしてください。



- ④ スライダー (Ci2 を除く) を使用する場合は、この時点でスピーカーケーブルを端子に取り付けることができます。取り付けポイントで壁に固定して使用する場合は、ケーブルを通した後にスピーカーを取り付け、最後にケーブルを端子に取り付けてください。

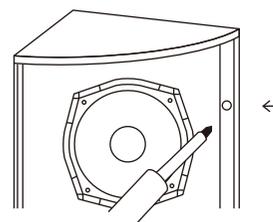
設置について

Ci シリーズは、本体の取り付けポイントまたはスライダバーを使用してコーナー、壁、天井等に取り付けることができます。また、本体を結合してカバレッジを拡張することもできます。

Ci シリーズは非常に軽いのですが設置する前に壁または天井がしっかりしていてスピーカーの重量を支えられることを確認してください。また、お使いの地域の健康と安全に関する規制に準拠していることを確認してください。本製品は軽量でスライダー (Ci2 を除く) が付いているので一人で簡単に設置が可能です。

コーナーでの垂直または水平に設置

スピーカーをコーナーに取り付ける場合は次のことを行う必要があります。



- ① フロントグリルを取り外すとキャビネットの左側と右側に取り付け穴があります。

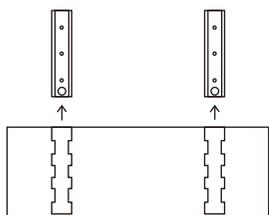
- ② 取り付けテンプレートを目的の位置に配置し 6 箇所の取り付け穴に合わせて穴あけ位置に印を付けます。
 - ・ 4mm のプラグと同封の 3.5mm フラットヘッドネジを使用して壁に穴を開けます。
 - ・ スピーカーを印の位置に配置しネジで取り付けます。

注：正確に 90 度ではないコーナーへの取り付け：

- ・ コーナーが 90 度未満の場合は、スピーカーキャビネットをコーナーのできるだけ深い位置に配置しすべての取り付けポイントを使用します。これによりキャビネットの後ろに少し隙間ができますがスピーカーはコーナーにきれいに取り付けられた姿になります。
- ・ コーナーが 90 度を超える場合は、スピーカーキャビネットの片側だけを壁に取り付けることをお勧めします。キャビネットの反対側の後ろには隙間ができますがそれでもスピーカーの取り付けは素晴らしい仕上がりになります。

壁や天井が柔らかい素材の場合、またはスピーカーを角から離して取り付ける場合

スライダー (Ci2 を除く) を使用します。



- テンプレートを使用して印を付けてスライダーを壁または天井に取り付けます。石膏ボード等柔らかい素材の場合はアンカー等を使用してください。*

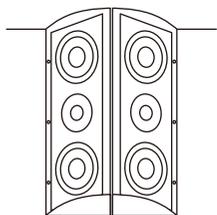
スライダーの矢印はスピーカーの正面を指す必要があることに注意してください。

* 壁がしっかりしている場合はスピーカーを保持するのに1つのスライダーで十分です。

- スピーカーをスライダーにスライドさせます。
- 最後に、上部と下部の取り付けポイントを使用してキャビネットとスライダーを壁または天井にねじで固定します。

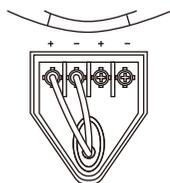
BLAZE AUDIO スピーカーは均一で広く制御された音の拡散に重点を置いて設計されています。音響設計上必要であればスピーカー同士を結合してカバレッジを拡大することができます。

- Ci シリーズの公称指向角は 100 x 100 度です。
- 2 台の Ci キャビネットを背中合わせに結合して壁や天井にぴったりと取り付けることができます。これにより位相のキャンセルを最小限に抑えて 200 度のカバレッジを提供します。
- スライダーまたは統合された取り付けポイントのいずれかを使用して、スピーカーを壁または天井に背中合わせに取り付けます。長さ 9mm、ネジ径 3 mm のボルトを使用してスピーカーを結合します。



同様に、3 台のキャビネットを結合させて 270 度をカバーするようにコーナー（外側）に設置することができます。長さ 9mm x ネジ径 3 mm のボルトを使用して 3 つのキャビネットを結合し、統合された取り付けポイントでスピーカーを壁に取り付けます。

スピーカーを壁や天井に取り付けいたらスピーカーケーブルを端子に接続し、フロントグリルを取り付けし直します。



(+) と (-) のスピーカーケーブルを左右の端子にネジ止めして接続します。必要に応じて空いている (+) と (-) 端子を使用して別のスピーカーにリンクします。

ケーブル

スピーカーケーブルは、アンプにさまざまな負荷をかけます。高容量、高インダクタンス、高インピーダンスのケーブルはアンプの信頼性だけでなく音質にも大きな悪影響を及ぼします。スピーカーシステムを最大限に活用するために細いスピーカーケーブルの使用は避けてください。

ケーブルの太さは、ケーブルの長さに関係します。非常に長いケーブル配線の場合、4sq.mm ケーブルの使用をお勧めします。ポートより太いケーブルを通すときは被覆を取り除き個別のケーブルをポートに通してスピーカー端子に接続します。

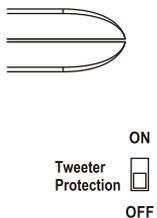
電力損失と応答の変動を最小限に抑えるために、次の表を参照して、インピーダンスとケーブルの太さに対する推奨される最大ケーブル長を確認してください。

Cable size/load	8 ohm	4 ohm	2 ohm
2 sq mm.	20m/65ft.	10m/32ft.	5m/16ft.
2,5 sq mm.	30m/100ft.	15m/50ft.	7,5m/25ft.
4 sq mm.	60m/200ft.	30m/100ft.	15m/50ft.

オペレーション

ツイータープロテクション

Ci4 と Ci5 (-V モデル含む) はツイーター保護回路を備えています。マイクを使用する場合、またはバックグラウンドサウンドのレベルが非常に高い環境でスピーカーを使用する場合は保護回路をオンにすることをお勧めします。家庭での設置の場合は保護をオフにすることをお勧めします。



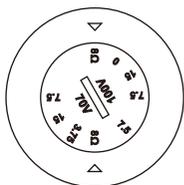
保護回路を有効にするにはプロテクションスイッチをオンにし、解除するにはスイッチをオフにします。

屋外での設置

Ci シリーズは IP65 規格に準拠 (Ci2 は IP54) しているため、屋外に設置が可能です。屋外に設置する場合、ケーブルの絶縁は水だけでなく温度や太陽からの紫外線の影響にも耐える必要があります。推奨される断熱材は、UV 安定化ポリエチレン、ネオプレン、テフロン™、シリコン™、およびハイパロン™です。ゴム、PVC (ポリ塩化ビニル)、ポリプロピレン、ポリウレタン、ナイロンは屋外環境での寿命が短くなる可能性があるため推奨されていません。また、UV 安定化ポリプロピレンが有効な場合もあります。

運用モード選択

Ci4-V および Ci5-V は、8 オーム (Lo-Z) または 70V /100V(Hi-Z) モードで駆動できます。入力タップ選択スイッチはグリルの内側に配置されています。Ci4-V のタップは 70V モードで 3.75/7.5 及び 15 ワットの出力で 100V モードでは 7.5 および 15 ワットの出力です。Ci5-V のタップは 70V モードで 3.75 / 7.5 / 15 および 30 ワットの出力で、100V モードでは 7.5/15 および 30 ワットの出力です。なおロータリースイッチはマイナスドライバー #7 で操作してください。



セーフティワイヤー

設置に関して、BLAZE AUDIO のスピーカーは壁や天井に直接取り付けられる“ブラケット一体設計”のためセーフティワイヤーは必要ありません (従来のスピーカー設置のようにブラケットにセーフティワイヤーを使用しません)。

推奨アンプ

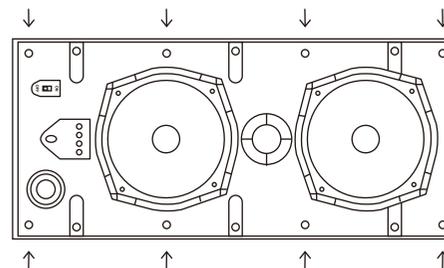
BLAZE AUDIO のスピーカーは最小インピーダンスが高いためアンプに簡単に負荷をかけることができます。一般的なプロ用のアンプであれば 3 つのスピーカー (Ci2, Ci4, Ci5) はチャンネルごとに問題なく動作します。アンプはスピーカーごとに記載された推奨アンプ出力の最大値が使用アンプの出力となるように選択することをお勧めします。

すべてのスピーカーシステムと同様に、パワーハンドリングはアンプの品質とサイズによって異なります。アンプをオーバードライブしてクリッピングが発生すると、アンプの出力がスピーカーのパワーハンドリングよりも低くても、ドライブユニットが損傷する可能性があります。

BLAZE AUDIO のアンプには各モデルに最適化されたプリセットが用意されています。

サービス

ウーファーは六角の H3 ビットを使用してバッフルからネジを外すことで簡単に交換できます。ツイーターはバッフルの背面からバッフルのホーンセクションに捻り止めされています。ツイーターにアクセスするにはフィリップスの 8 本のネジを緩めてバッフルを取り外します。



ツイーターを反時計回りに回してバッフルから取り外します。新しいツイーターをバッフルのホーンセクションに向かって押しつけて再取り付けし、「カチッ」という音が聞こえるまで時計回りに回します。

クロスオーバーを外す際はフィリップスのネジを緩めドライバーからケーブルを抜きます。

仕様

Ci2

2.5" woofer
0.75" silk dome tweeter
IP レート : IP64
Color : 黒・白

定格入力:	30 W
感度, 2,83V/1m:	84 dB
最大音圧, long term:	99 dB
周波数特性:	140Hz - 20kHz
インピーダンス:	8 ohm
指向角:	100° x100°
寸法 (HxWxD):	181x135x102mm
質量:	0.75 kg

Ci4/Ci4-V

4" woofer + 4 " slave
1" silk dome tweeter
IP レート : IP65
Color : 黒・白

定格入力:	60 W
感度, 2,83V/1m:	86 dB
最大音圧, long term:	104 dB
周波数特性:	60Hz - 20kHz
インピーダンス:	8 ohm
指向角:	100° x100°
寸法 (HxWxD):	400x190x145mm
質量:	2.7 kg (Ci4-V: 3.15kg)

Ci5/Ci5-V

5.25" woofer + 5.25" slave
1" silk dome tweeter
IP レート : IP65
Color : 黒・白

定格入力:	80 W
感度, 2,83V/1m:	88 dB
最大音圧, long term:	107 dB
周波数特性:	55Hz - 20kHz
インピーダンス:	8 ohm
指向角:	100° x100°
寸法 (HxWxD):	450x209x150mm
質量:	2.9 kg (Ci5-V: 3.5kg)

